

GOVERNOR'S

MONTHLY COMMUNICATION

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650 2016-17 OCTOBER Vol.4

2016-17年度
ガバナー月信

10月号
Vol.4



写真提供 Drs.HENRY SUSANTO (Mataram Yogyakarta RC)

経済と地域社会の発展月間／米山月間

JOIN LEADERS
EXCHANGE IDEAS
TAKE ACTION



CONTENTS

- | | | | |
|---------------|----|------------------------|----|
| 1. ガバナーメッセージ | 1 | 6. 米山梅吉記念館便り | 12 |
| 2. ロータリーモーメント | 3 | 7. 地区通信 | 13 |
| 3. ロータリーコラム | 5 | 8. 2016年7月会員数の増減および出席率 | 14 |
| 4. ロータリーの歴史 | 8 | 9. 2016-17年度7月会員の動き | 裏面 |
| 5. ロータリー情報 | 11 | | |



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Rotary 

THE ROTARY FOUNDATION

YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD

2016-17年度 第2650地区

刀根 莊兵衛 ガバナー メッセージ



人類に
奉仕する
ロータリー



2650地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様へ

謹啓

酷暑の夏も終わりを告げ、秋の気配を感じる季節となりました。

会長、幹事の皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

新年度が始まり、はや3カ月が経ちました。それぞれのクラブ様には着々と本年度の事業計画を進められていることと存じます。

私の公式訪問は、78クラブ様をお訪ねさせて戴く事が出来ました。それぞれのクラブで温かく迎えて戴き、皆様のご友情に感謝しているところでございます。

ご訪問致しましたクラブ様では、会長様の力強いリーダーシップのもと、クラブテーマに向かって、一丸となって邁進されておられる姿を拝見し、感服した次第でございます。

すべてのクラブ様には個性と魅力があり、ふたつとして同じクラブはありません。地域に根差した素晴らしい奉仕活動を行っておられるクラブ様、未来に担う青少年活動に力を入れておられるクラブ様、あるいは、海外の人々のために心をこめて活動されているクラブ様のお姿を目の当たりにして、心を打たれております。ロータリーの素晴らしさを改めて実感する毎日でございます。

ところで、公式訪問中、皆様の最大の関心事は、4月に行われました規定審議会の結果でございました。「今回の変更は納得がいかない」「会費が急に大幅に値上げされることは理解できない」「会員資格が簡素化されることに反対である」等々。様々なご意見を戴いております。個人的には、私も皆様のご意見はよく理

解できます。

しかし、まず最初に、お断りしなければならない点は、定款の例外規定は、「変更しなければならない」のではなく、「変更してもよい」と言う事です。つまり、例会の開催も出席に関する変更も会員の種類もすべて、皆様がこれを変更したいと考えた時、定足数を満たした例会でクラブ会員の承諾を得て、変更することができるのです。これがクラブの自治権であり、クラブの裁量権でもあります。

ただ、私は、会長、幹事様にこれらの細則を変更する場合、前提としてクラブの将来ビジョンや理想像を明らかにすることが大切であると訴えています。

安易な細則の変更は、クラブの将来を危うくする危険性があると考えているからです。

今回の改定は諸刃の剣であると思います。これは会員増強を図る大きなツールとなる可能性もありますが、逆に、将来ビジョンなき安易な例会の回数の削減や出席規定の緩和は、ロータリーの存在価値や魅力を失わせる可能性もあるのです。

どうかクラブの将来ビジョンについて、クラブフォーラムや炉辺会合などで、クラブ全員で希望や夢を語り合える機会を作って戴ければと存じます。

さて、10月は、ロータリーの「経済と地域社会の発展月間」です。

仕事があっても1日1ドル25セント未満の生活を送る人々が全世界で14億人いると言われております。ロータリアンは、こうした人々に生産的かつ十分な仕

事の機会をつくり、経済と地域社会の発展を目指す奉仕プロジェクトを実施しており、これがロータリーの6つの重点分野の一つとなっています。貧しい地域で、特に女性をはじめ、地元起業家や地域リーダーの育成を応援しています。

ロータリアンは「人」に投資し、地域社会や人々の暮らしに持続可能で測定可能な改善をもたらし、地域社会の経済発展を促すため、「貧しい地域社会の経済発展を促すための人々の能力・スキル向上」「生産性の高い仕事の創出」「支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減」「経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援」など、世界の各地でさまざまな取り組みを実施しています。

そのための資金として、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を利用することができます。特に、グローバル補助金は、持続可能で大規模かつ国際的なプロジェクトを行うことができます。是非、グローバル補助金の積極的なご利用をお願い致します。

また、日本独自の月間として10月は「米山月間」となっております。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としている奨学事業です。この月間に因みまして、米山奨学事業の意義を深く認識して戴くために、米山奨学生や地区委員からの卓話をお聞きしたり、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムなどを開催して戴ければ

幸いに存じます。

最後に、10月24日は世界ポリオデーです。

1988年には125か国以上の常在国があり、推定で35万人のポリオ患者が発生していましたが、99%以上減少し、2015年には患者が常在国2か国の74人となりました。

これは、1980年の天然痘撲滅宣言に続き、1980年代にアメリカ大陸からポリオウイルスを撲滅することに始まり、国際ロータリーがすべての小児をポリオから守るために基金を設立することを公約し発展させたものです。

本年度、私たちは97クラブ挙げてのロータリー財団100周年事業として、ポリオワクチン投与のミッションを行うことに致しました。

これは過去20年間続けてきた地区のポリオミッションの終結へ向けた大きな節目の事業となります。どうか皆様の手で、子供たちの口に2滴のポリオワクチンを投与して頂き、ポリオ撲滅に向けての奉仕の実践にご参加し、奉仕の感動を味わって戴きたいと願っております。

秋も急速に深まり、すぐに夜寒の候を迎えます。会長幹事様にはお風邪などをお召しにならないようにご自愛のほどお祈り申し上げます。

謹言

2016-17年度ガバナー

刃根 莊兵衛

人間の目は ふしぎな目
見ようという 心がなかったら 見えても 見えない

人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心が なかったら
聞いていても 聞こえない

頭も そうだ
はじめからよい頭 わるい頭の区別が あるのではないようだ
「よし、やるぞ!」と
心のスイッチがはいると
頭も すばらしい はたらきを しはじめる

心のスイッチが 人間を
つまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし 暗くもするように

『自分を育てるのは自分』(東井義雄)

ロータリー
Rotary Moment

モメント



日野川自然観察会とイカダ下り

2016-17年度 ガバナー補佐
辻岡 俊三（武生RC）

1994～95、社会奉仕委員長として取り組んだ事業を紹介させていただきます。当時の武生RC例会場は、日野川の近くにありました。例会場の窓越しに見える日野川の流れは、我々の子供の頃の楽しい思い出を今も浮かべてはいますが、近年は親子で水辺に遊ぶ姿は目に止まらなくなりました。

そこで、武生RC創立40周年記念事業の一つとして出版したふるさと日野川探検隊による「日野川環境マップ」をもとに、地域の子供達に日野川の自然と友達になってもらえたらとの願いを込めて「日野川自然観察会とイカダ下り事業」を実施いたしました。催しには、小学生約150人をはじめ、保護者、RC会員と夫人、武生東高校IACのメンバー約270人が参加致しました。RC会員が杉板と発砲スチロールで手作りした長さ3.6m、幅1.8mのイカダ4台に分乗しました。1台に約10人が乗り込み、約1kmの川下りを楽しんだ後は、専門講師による指導のもと2班に分かれて水生生物や植物採集を行いました。夏休みの宿題も片付けられた子供達は、自然環境保全の大切さや日野川への親しみを感じている様子でした。終り頃には会員夫人達による手作りのパンが全員に配られました。この事業を行うに当たりましては、武生RCテリトリー内6市町村の教育委員会をはじめ、武生土木事務所、日野川漁協の許可および支援協力を頂きました。参加者からは是非又との嬉しい言葉をかけられ、日野川に親しむ親子連れの姿が多く眺められる日を心待ちにしています。また、この日野川自然観察会のイカダ下りが「The Rotarian」誌の紙面を飾り、全世界に発信されました。川と人の係りは永遠の課題です。



『ロータリーで人生が生き生きするリズムに』

2016-17年度 会員増強・拡大委員長
岡寄 正司（水口RC）

私がロータリークラブの入会にお許しを頂いたのが2000年7月でした。ちょうど青年会議所の最終年度でJCが卒業と言うことで一抹の寂しさを感じていた時にお声をかけて頂いたことは光輝なことでした。しかしながらロータリーは毎週の例会に奉仕活動や行事への出席数を数えますとかなりの負担になり、卒業が無く気が遠くなる務めであることの重苦しさがありました。そのうち3年が経ち5年と経っていくうちにいつの間にか生活の一部となり、一度も欠席することなく16年が経ちました。

ロータリーは「入りて学び 出でて奉仕せよ」の自己研鑽の場であることを常に念頭において活動していますと、ロータリーの素晴らしさを日々感じるところでございます。

我が水口ロータリークラブは55周年を迎えましたが、メンバーのお一人でありました北村健蔵様は1916年（大正5年）生まれで今年100歳を超えられ、1966年（昭和41年）50歳で入会されて今年の4月11日で在籍50年間務められましたが残念なことに6月9日にご逝去されました。北村様は青年期に日中戦争兵役で銃弾を受け、また大東亜戦争へも長きに亘りお務めされ、以後は家業と地域の発展に寄与されておられます。50年の気が遠くなる年月を欠席もなくロータリーライフを満喫続行されておられたことに私は尊敬の念でいっぱいでございます。

週に一度の例会出席「たかが週一例会出席 されど週一例会出席」何気ない週一、何気ない一時間のように過ごしておりますが、退会しない限り人生のリズムとして健康維持と奉仕と親睦が永遠に続く場、それがロータリーの醍醐味ではないでしょうか。

近年ネット社会としてSNSソーシャルネットの普及で全国から世界にかけて情報やコミュニケーションが広がり、自クラブ内に留まらず毎日毎秒いろんなロータリアンと交流できたり、いろんな他ロータリー活動が拝見できる時代となり益々「入りて学び 出でて奉仕」できる環境となりました。

「ハレとケ」という言葉がありますが「ハレ」をロータリーの日「ケ」は普段の日を表します。ロータリーの日が活き活きするのは普段地道な仕事をこなしているからです。毎日仕事をこなすことができるのはロータリーの日があるから原動力になっています。

まさにロータリーは「人生の道場」ではないでしょうか。一人でも多くの素晴らしいロータリーの仲間を増やして行きたいと改めて思う次第であります。

米山奨学生のカウンセラー ～素晴らしい出会いと経験～

2016-17年度 広報委員長
高野 治（奈良大宮RC）

私は2012年4月から2013年3月まで、米山奨学生のカウンセラーをしました。私がお世話したのはネパールの女性でした。私は父をインドで亡くしたこともあり、インドやネパールといった地域に特別な思い入れがあります。カウンセラーをしていた1年間、あるときは彼女とお出かけをし、あるときはお食事をしながらお話をし、日本の国、日本人というもの、そのすばらしさを伝えました。一方で、ネパールのすばらしさ、ヒンドゥー教の教え、ヴェジタリアンというものなど、様々なことを教わりました。彼女は、日本の上場企業に就職し、今は大阪にお住まいです。日本語、ネパール語だけでなく、ヒンドゥー語、英語も堪能なため、特にインドやネパールといった地域との重要な架け橋になってくれています。フェイスブックで友達としていつもつながっていて、我が家に遊びに来ていただいたり、彼女の家に家族でお邪魔をしたこともあります。

そのようなとき、昨年4月にネパールで大地震が発生しました。私はすぐに彼女と連絡を取りました。彼女は泣いていました。テレビや新聞でも報道は伝えられておりましたが、彼女を通じて、生の情報が伝わってきました。そしてその時私は、ささやかではありますが、クラブで募金活動を行うことに決めました。彼女の写真を飾り、メンバーに彼女のことを思い出していただきながら、ネパールの惨状を伝えました。多くの方に協力をいただき、最終的には地区でも義援金が立ち上がったので、そちらの方に合流させていただきました。多くのロータリアンがネパールのために協力したことを伝えると、彼女はとても喜んでおりました。

私は米山奨学生制度はロータリーが誇るべき素晴らしいものだと思っています。広く大きな心、長い視野を持って、ロータリーが今後とも発展的に取り組んでいくことを望んでやみません。

ロータリーコラム

第4回

2016-17年度ガバナー
刀根 莊兵衛



ロータリーの目的は一つ？ 五大奉仕との関係は？

「The Object of Rotary (旧ロータリーの綱領、現ロータリーの目的)」は、ロータリーが何を目的としている組織かという組織の根幹にかかわる基本的ドキュメントであり、かつ新会員が入会する時、必ずこれを受諾することが求められる重要な文章となっています。しかし、実際には、従来のThe Object of Rotaryの日本語訳は難解すぎて、その内容を十分に理解している人は少ないというのが現実でした。

また長年、私たちが遵奉して来た「The Object of Rotary (旧ロータリーの綱領)」の日本語の翻訳そのものについても疑義が多く、これまで多くのロータリアンが様々なその日本語訳改訂の提言を出されてきた経緯があります。中でも、東大阪みどりRCの山片重房氏による英文の詳細な指摘は正鵠を射ていたように思いました。

しかし一方で、綱領くらいの重い言葉でないと値打ちがない、既に綱領と言う言葉は定着しているといった反対意見も根強くあったのも事実です。また、これとは別に、RI定款では第3条が目的 (purposes) で第4条がObject (綱領) となっているので、両方とも目的と訳すのはおかしいと言う反対の意見もありました。

更には、「手続要覧」を読めば、ロータリーの原則 (Principle) は職業分類とロータリーの目的 (綱領) ということになっているのだからObjectのほうがPurposeより重い意味があると捉え、たとえObjectそのものは、目標とか目的くらいの意味でもObject of Rotary となると特別な意味があるの

だという主張を述べられる先生方もおられました。

かつてロータリー日本事務局で長年翻訳に携わっておられた片岡暎子氏がロータリーの友に寄稿された文書を拝見いたしますと、その昔、ロータリーの重要文献の日本語訳を担当されていた、翻訳委員会のメンバー (PDG) のお一人で、英文学者の入江直祐先生が、『綱領は大変よい訳で、直すなら、むしろ、綱領に当たる英語のObjectをカルタ (Churta) に変えるべきだ』との意見を述べたと言われ、額に入れて飾る言葉としては、綱領くらいの言葉のほうが重みがあってよい言う意見などもあったと、回想されておられます。

確かにこの“The Object of Rotary”はロータリーにとっては、それくらい重要なドキュメントであったことは紛れもない事実であろうと思います。

しかし、これら様々な議論の中で、ついに難解な綱領の日本語訳を改訂しようと言う流れが、次第に大きくなっていきました。そこで、腰を入れた取り組みのために、調査研究機関として、平成21年に発足したガバナー協議会が最適であると考えられるに至りました。

早速この協議会において、綱領等、翻訳問題調査研究小委員会が立ち上がり、活動が開始されました。この委員会では、まず、日本のロータリアンの「ロータリーの綱領」に関する世論調査から始め、個別テーマの調査研究や原文英語の検討に至るまで、3年間にわたって熱心な調査研究が続けられました。このような長年の懸命な努力が実り、綱領等翻訳問題調査研究小委員会がまとめた

改訂案について、さらに日本のシニアリーダーであるRI理事および元RI理事の意見が求められました。これを受けて、RI理事および元RI理事は理事諮問委員会が作られ、綱領等翻訳問題調査研究小委員会がまとめた原案にもとづいて、主な問題点について意見を交わされました。

その結果、RI理事諮問委員会は、全体の文章を現代的な表現にし、理解しやすいものにするには異議はなく、「綱領」を「目的」にすること、ならびに「奉仕の理想」を「奉仕の理念」に変更することにも同意するに至りました。

そして、最終的に2012年11月28～29日に開催された第41回ロータリー研究会にて綱領等翻訳問題調査研究小委員会の鳥居滋委員長から「The Object of Rotary（ロータリーの綱領）」の日本語訳が「ロータリーの目的」に改訂されることが発表されました。

もちろん、これはThe Object of Rotaryの原文の英語が変わったのではなく、日本語の翻訳が変更になっただけです。そして、「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」とタイトルが変わり、内容も現代的な表現に改訂されたのです。

~~~~~  
ここで、新訳と旧訳を比較しながら、このたびの改訂で、Object of Rotaryがどれくらい親しみやすく、またどれくらい分かり易いものになったかを比較してみましょう。

### ロータリーの綱領(The Object of Rotary) (旧訳)

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

(1989年に改訳された日本語訳)

### 新しい日本語訳：

#### ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

(RI定款第4条、標準クラブ定款第4条)

(注：現在の日本語訳は2013年に改訳され、今日に至っています。)

~~~~~

ところで、[ロータリーの目的（綱領）]は四条から成り立っていて、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を説明しているあるいは四大奉仕（現在は五大奉仕）に対応していると誤解している人がいるようですが、これは重大な誤りです。

現在、ロータリーの目的（綱領）がObjectではなくObjectと単数であることから、目的は主文に書かれてある一文のみ。すなわち目的は「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」です。そして、「具体的には、次の各項を奨励することにある」以降の四項目は、目的を達成するための付帯事項ないしは説明であることに留意しなければなりません。つまりロータリアンが育むべき

奉仕の心と奉仕の実践についての具体例が、四項目からなる付帯事項として示されているのです。

手続要覧の第6章基本概念にあるロータリーの目的の最後に、次のような説明がされていることから、そのことがご理解いただけるものと思います。

「ロータリーの目的」(RI 定款第4条)中の4つの説明的文章は等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものである。(1998年6月理事会会合、決定348号)

2007年規定審議会において、標準ロータリークラブ定款上で「四大奉仕」を定義する提案が採択されました。この提案は原文を重田政信理事(当時)が起草したものに若干の修正を加えてRI理事会提案として、規定審議会に提案されたもので、423対43という大差で採択されました。CLPに基づいてRI理事会が発表した推奨クラブ細則中の委員会構成が、四大奉仕を尊重していないという批判が強かっただけに、1927年に制定された四大奉仕が、80年経って定款上に改めて記載された意味は大きいと思われます。

ロータリーの目的(綱領)があるから四大奉仕を記載する必要はないという意見もありますが、ロータリーの目的(綱領)の条文は四大奉仕と対比したのではなく、ここで改めて四大奉仕を再定義したことは大きな意味を持っています。

ところが、2010年の規定審議会でのこの四大奉仕に青少年奉仕(当時は新世代奉仕)が加わりさらに五大奉仕となりました。これに呼応して、次の2013年の規定審議会、「ロータリーの目的(綱領)」に青少年に関する項目を追加しようとする提案が3件ありました。審議の結果、2件は理事会付託、1件は否決となり、これを受けて理事会は、2016年の規定審議会に、ロータリーの目的に青少年に関する第5項目を追加する制定案を提出しました。

第5. 奉仕、メンタリング、国際交流、リーダーシップ養成の機会を通じて、新世代のグローバルリーダーを育てること；

2016年規定審議会では、上記のRI理事会提案を含め、ロータリーの目的を変更する改正案が数件提案されました。審議の結果、すべての案件が撤回、否決、あるいは理事会付託となり、今後、さらにRI理事会で検討されることになりました。

最後に、ロータリーの目的と五大奉仕の関係について私の考えを纏めたいと思います。

そもそも「ロータリーの目的(綱領)」に示されている付帯事項の四項目は「四大奉仕部門」の各部門と一対一で対応している訳ではありません。「ロータリーの目的」は、ロータリーが組織としての存在意義、目指すべき目標を表明したもので、私たちが最も拠りどころとすべき根本方針なのです。

一方、標準ロータリークラブ定款に書かれている「五大奉仕部門」の定義は、2007年に追加されたもので、いわばロータリークラブの奉仕活動の枠組みですから、これは時代の変化に合わせて、追加修正があってもよいのです。実際、最初は1927年に今の枠組みができた時は「三大奉仕」であり、その後、国際奉仕が追加され、現在は青少年奉仕が加わり「五大奉仕部門」になっているのです。

ロータリー運動の根本理念である「ロータリーの目的」に対して、時代によって変化していくであろう奉仕活動の詳細を記述したり追加したりする必要はないのではないかと思います。現在の理事会や一部のロータリアンはそうは考えていないのかもしれませんが。

今後、次の2019年の規定審議会、ロータリーの目的がどのようなようになるのか、大変注目される所です。

なお、今回の規定審議会では、この「ロータリーの目的」とは別に、標準RC定款に新たに「ロータリークラブの目的(Purposes)」が追加されました。すなわち、クラブ自体の活動目的としてCLPに掲げてある役割が改めて確認され、定義されることになりました。

ロータリーの歴史

第4回「米山梅吉翁の生涯」

あるガバナー補佐の推薦で、米山梅吉の一生という本を読みました。幼少のころからアメリカ留学を経て、三井銀行、三井信託銀行、三井報恩会、ロータリークラブなどでの活躍が主な内容でした。著書の三戸岡道夫氏によれば、米山梅吉の生涯を通じての信条は「信じて託す」という人間の信頼関係を基にした公益の精神ということでした。そしてこの精神を実現したのが、公益性を持った事業としての信託銀行業務、社会奉仕事業としてのロータリーや報恩会の活動ということになります。まさに二宮金次郎の報徳精神と共通していると言えます。

ところで、米山梅吉自身も個人的にも社会奉仕活動を盛んに行い、青山学院への支援、小学校の設立をはじめ、学を志す青年への奨学金支援活動など多岐に及んでいます。しかもほとんどの場合、匿名で援助をしており「人から感謝されるために行っているのではない」として、相手から感謝などの見返りを求めることもなかったという。まさに陰徳の人なのです。「米山梅吉翁物語」より詳しく米山梅吉氏の生涯を振り返ってみたいと思います。

【幼い頃】

米山梅吉先生は、明治元年2月4日東京芝田村でお侍の子として生まれました。この年は日本で270年続いた徳川幕府がくずれ、江戸時代が明治時代となり、江戸が東京とあらたまった記念すべき年でした。お父さん（和田竹造）は、先生がまだ幼いころに亡くなりました。お父さんが亡くなられた後、一家はお母さんのお里のある三島に移りました。お母さんは、源頼朝が源氏復興を祈りたいわれのある三島神社の神主さんの娘でした。

12才の時に、米山家から養子にほしいという話が出ました。米山家は400年も続いている家で

した。米山家は農家でしたが、地主だったので家族の人が野良に出ることはありませんでした。梅吉少年は、大家のお坊ちゃんとして学校の勉強にはげみ、特別に漢学の勉強をしていたようです。

【沼津中学校の頃】

梅吉少年にとって本当に楽しい中学生時代でしたが、このままでいくと、自分は旧家の地主として一生を送るようになるにちがいない。これではいけないと疑問を持ち始め、悩み出したのです。梅吉少年は文章には自信があり、政治に興味を持ち、なかなか演説も上手で、新聞記者になることにあこがれていました。

明治16年12月、だまって家を出て3日ばかりで東京へ出て行きました。その頃は、まだ鉄道は新橋－横浜間しかありませんでしたから、箱根の山を1人で越え、横浜まで歩いて行きました。

【東京で苦学の頃】

東京府の吏員になる試験を受けて合格し、吏員となってアメリカへ行って勉強するためのお金をためることにしました。そのころは、アメリカまでの旅費は100円でした。まず100円をためなければなりません。おまわりさんの月給が8円位でした。ちゃんとした仕事についたので、芝愛宕町に家を借りて三島からお母さん呼びました。

明治19年、青山の東京英和学校（青山学院の前身）に入学し、梅吉青年は、本多庸一先生の教えを受けました。本多先生を心から尊敬し、20才でアメリカ行きの決意をすることになります。だまって家を出て来てしまい、米山家とは行き来がありませんでしたが、梅吉青年は、いつも心のどこかに悪い事をしてきたと思っていました。

米山家の主人、藤三郎氏は仕事で時々東京に出て来ていましたので、一度会ってお詫びをしてか

らアメリカへ出発しようと思ひ、藤三郎氏が、いつも利用している旅館へ行きました。そこで藤三郎氏にすべてを許してもらひ、アメリカに勉強に行くことも理解してもらひました。梅吉青年は、ノートに「明治20年10月6日、梅吉、和田家より養子として入籍」と記しています。

【アメリカでの生活】

その頃、学費を持ってアメリカへ行く青年は、ほとんどありませんでした。学問といえば、イギリスかドイツへ行くのが普通でしたが、アメリカには、貧しい青年のために道が開かれていました。スクールボーイと呼ばれ、住む部屋を与えられて、仕事のひまに学校へ行くことが許されました。梅吉青年はこの仲間に入って、まず大学に入る準備の高等学校、ベルモントアカデミーに入学しました。それから、オハイオ州ウェスレアン大学とニューヨーク州のシラキュース大学で法学を勉強しました。8年という普通の倍もかかっていることから、学資を稼ぎながらの苦しい生活であったろうと思われませんが、その分この時に、世の中のいろいろのことに触れ、得ることが多かったのではないかと思います。

【実業家として】

明治28年、日本では日清戦争が終わり、下関条約が結ばれた年に、アメリカから帰国しました。明治29年9月、「ていとくペリー（提督彼理）」を博分館から出版しました。題字は、勝海舟に書いてもらっています。明治29年10月に米山春子さんと郷里で結婚しました。そして生活のため新聞記者になるのを諦めて、英語のできる人を求めている日本鉄道会社に入社しました。

その後米山先生は、まことに好運なことに井上馨の推薦を受けて三井銀行へ入行することになりました。明治30年10月、30才の時でした。2年目には、上役の人に認められ、出世もし、優秀な3人が選ばれて、2年間かけて欧米の銀行を見て学んで来る役目を命じられました。欧米視察から帰国してから、大阪支店、大津支店、深川支店、横浜支店とうつり、明治38年、三井銀行横浜支店長となりました。この年は先生とゆかりのあった明治元年生まれのポール・ハリスが、シカゴでロータリークラブをつくり、夏目漱石は、「吾輩は猫である」を出版した年でした。

明治42年10月、三井銀行が株式会社組織になり、米山先生は常務取締役大阪支店長となり、他

の仕事もふえて忙しくなってきました。第2次桂太郎内閣の時、大隈重信、渋沢栄一と同じ会に出て話し合うこともありました。いつの間にか、先生の働きは三井銀行の米山ではなく、日本経済界の代表者の1人と見なされるようになっていました。

大正9年、53才の時、日本にロータリークラブをつくり、会長になりました。

大正元年（1917年）に政府のアメリカ使節団の委員としてワシントン、ニューヨークに行かれましたが、年末年始の休みを利用してテキサス州ダラスに三井物産の福島支店長を訪ねました。

当時ダラスは綿花の集散地として重要な場所でありまた、油田も開発され、三井物産としても重要な場所でありました。その福島支店長のゲストとしてロータリークラブに出席した事が最初の接触でありました。米山先生が新隠居論を発表して社会に向けた奉仕の精神を強く持っておられる事を、福島支店長は良く知っていたので、クラブのゲストとして招いたのではないかとされています。

東京ロータリークラブは、米山先生がダラスの例会に出席してから2年10ヵ月後の大正9年10月20日、25人の会員により東京銀行倶楽部に於いて設立されました。最初の頃は米山先生の言わば一人演説会の様子であったようで、奉仕の精神を説教じみて語られるので、少し会員もうんざりしていた様子でした。しかし、大正12年9月1日東京関東大震災が起こり、何10万人と言う人が亡くなる大惨事が起きると、世界中のロータリークラブから見舞金総額9万ドル近くが送られてきたのです。当時360円として約3億円位の送金があったのです。この一件で東京ロータリークラブは、米山先生の奉仕活動の重要性を思い知らされ、多くの寄付及び奉仕活動に全力を挙げたのです。正にロータリークラブの出番となったのでしよう。

三井信託銀行を設立された動機その他を考えますと、米山先生の信念が私にも解る様な気が致します。アメリカ留学時代に恐らく多くの〇〇TRUST、△△TRUSTをいう看板を目にしておられ、銀行家として大いに興味をひかれたものであろうと思われまふ。この仕組みはイギリスで考案され、米国でビジネスになっていくのですが、信託とは金融の事だけではなく、自分の死後、家

族への心配をなくするというような委託する人、委託される人、その結果、メリットを受ける人いわゆる受託者の3者によって成り立つ仕組みと、簡単に申しますとこのような事です。

このシステムは『信託二法』と言う法律で公認され規制されています。このシステムは公共の事業にも大いに役立ち、日本初の地下鉄銀座線が浅草、上野間で開通、米山先生の援助で上野、新橋間が完成しました。

三井信託銀行の入行した新入社員に、米山社長はポケットマネーで作った赤い名刺入れをプレゼントされ、その名刺入れにはKeep your name cleanと書いてあったそうです。日本語にすると「名を惜しめよ」と言う事になるのでしょうか。

かつて米山先生は「新隠居論」なるものを発表しています。米山先生が三井銀行の常務取締役となって5年目、47歳の時であった。その隠居論は、一言で言えば、「実業界の老人はいつまでもポストにしがみつかないで、はやく隠居し、隠居仕事として公共事業に精を出し、世の中のために尽くすべきである」と言う主張でした。このような米山先生の「社会奉仕への強い関心」の延長線上に、東京ロータリークラブの創設というものがあったと言えます。

米山先生はポール・ハリスの「ロータリーの理想と友愛」の序文で、「職業を異にする実業人が、広く友愛の主義によって結合し、まずその道德水準を高め、自己の利益を第一とする態度を改め、もっぱら国家社会の福利に貢献するところがあるように、奉仕の理想を基調として合同し、政治、宗教の外に立ち、国際の親善、ひいては世界の平和に貢献するロータリー運動の理想と、その組織の真相を周知せしむるために、この書を得たのはまことに幸いである」と書いている。米山先生は、出張で海外に出かけている以外は、毎回必ず例会に出席し、ロータリーの心、ロータリーとは何かを熱心に説かれました。

[奉仕の生活]

昭和12年3月緑岡小学校（今の青山学院初等部）ができました。それは、米山先生の自分の財産をなげうってつくられ、あたたかい雰囲気の中で、正しくのびやかに信頼できる人間教育をしたいと校長になりました。毎週1回の米山校長のお話は、「人々にしてほしいとあなたがたの望むこ

とを、人々にもその通りにせよ。」という聖書の言葉を毎回読まれ、それについてのお話でした。そして子ども達には、言葉づかいを正しく美しくすること、服装をきちんとすること、礼儀正しくすること、人に迷惑をかけないこと、誠実にすることを強くすすめられ、ご自身もそうなさって見本を示されました。

昭和9年に米山先生は、実業界の第一線を退いて三井報恩会の仕事に専念するようになり、「新隠居論」で発表した通りの生活をするようになると、社会事業の世話を頼む人がふえました。恩賜財団愛育会の監事を引き受けたり、昭和洋画奨励会の創立幹事も頼まれてしましたが、お金をもらわないすべて奉仕の生活でした。

米山先生は、理想を高くもち、正義を固く守り、物事のすすめ方はいつも筋が通っていました。豊かな常識と高い知識の持ち主であったことは、言うまでもありませんが、三井報恩会の仕事についても、大きく高い所から世の中を見つめ、国全体、世の中全体にとって大切な仕事に力を入れておられました。

昭和15年から17年にかけて、青森から沖縄までの数か所の癩病で入院している人々を1人1人にお土産をもって慰問されました。そして癩病の人をもっと入院させて世話をするため、全国にベッドを3000増やす計画をたてさせて実行されました。また癌についても、治療に必要なラジウムが足りないと聞くとさっそくベルギーから、ラジウムをその頃のお金で100万円を出して買って癌の治療の研究を助けられました。

また国民病ともいわれていた結核が広がっている状態を知って、結核療養所を作ったり、結核を治す薬の研究所を作られました。その他、各地に済生会病院を増やされたり、精神病院を作られたりして、病気の予防や治療やその研究を助けられました。三井報恩会は、貧しかった東北の農村が発展するように多くのお金を出して助きました。見事に息をふき返した村も多くありました。その中の一つ青森県東津軽郡西平内村には、米山先生の書かれた字の記念碑が立っています。また東北地方の実情を見て回り、わが国の羊毛の資源をふやすために、ニュージーランドから羊を5000頭以上輸入して農家に飼わせました。

(引用文献：成川守彦パストガバナー「米山梅吉翁物語」)



ロータリー情報

2016-17年度 国際ロータリーにおける各種賞・表彰

人びとの生活をもっと豊かにするために、クラブに活気をもたらすために、そして平和な世界を築くために、ロータリーで力を尽くす人たちに感謝の気持ちを伝え、モチベーションをさらに高める方法となるのが表彰です。

国際ロータリーとロータリー財団が授与する賞のほかに、地区で独自の賞を設けることもできます。

なお、本表および申請書を含め地区ウェブの「各種資料・ダウンロード」ページにアップしております。

http://rid2650.gr.jp/about/download/#dl_doc02

賞	授賞資格	推薦者	締切日、提出期間
個人賞			
奉仕部門功労者賞	五大奉仕部門に対して素晴らしい貢献をした会員	クラブ会長 (推薦書式あり)	特になし
クラブ・ビルダー賞	「ロータリークラブのサポートと強化」のために尽力している会員 (ロータリー歴5年以上、地区内10人迄)	地区ガバナー (表彰状注文書式あり)	特になし
ロータリー財団 功労表彰状	補助金プロジェクト、ロータリー平和フェローの支援、財団委員会での活躍など、ロータリー財団と関連した活動に積極的に取り組んだロータリアンを称える賞です。(毎年1地区1名)	地区ガバナー (推薦書式あり)	特になし
ロータリー財団 特別功労賞	ロータリー財団において模範的な奉仕を实践したロータリアンに与えられる財団最高の賞です。ロータリアンは、功労表彰状を受賞後丸4年が経過してから、財団特別功労賞の候補者となる資格を得ます。(毎年1地区1名)	地区ガバナーおよび2名(1名は地区外)のロータリアンからの支持 (推薦書式あり)	6月30日
ロータリー財団 地区奉仕賞	財団プログラムを通じて優れた奉仕活動を実践した地区のロータリアンを表彰するものです。(毎年地区内最高20名迄)	地区ガバナー (表彰状注文書式あり)	特になし
RI超我の奉仕賞	ロータリーを通じて積極的なボランティア活動を行い、他の人びとを助け、模範的な奉仕を实践した人に贈られるロータリー最高の賞です。毎年、最高150名の受賞者が選ばれます。	地区ガバナー、直前ガバナー、RI理事、元RI理事 (推薦書式あり)	10月1日
ポリオのない世界を目指す奉仕賞	ポリオ撲滅のために大きな貢献をしたロータリアンに贈られる賞です。WHO(世界保健機関)が設定した地域に合わせ、毎年、1地域につき最高10名に地域賞が贈られます。また、ポリオ撲滅活動で国際的に活躍した人、最高10名に国際賞が贈られます。	全ロータリアン (推薦書式・指針あり)	11月1日
職業奉仕 リーダーシップ賞	自らの職業上の能力を生かして地域社会に貢献し、高潔性の模範となり、推薦書式に記載されている受賞基準を満たしているロータリアンに贈られる賞です。(毎年1地区1名)	地区ガバナー (推薦書式あり)	11月1日
ロータリークラブ・地区の賞			
会員増強賞	会員増強および維持において、傑出した成果を上げたクラブ、地区、またはゾーンを称えるための賞です。	推薦の必要はなし (パンフット・表彰状テンプレート・ガイドあり)	なし
会長賞	活気あるクラブづくり、効果的な奉仕活動、公共イメージの向上に関連するさまざまな活動を実施したクラブを表彰するための賞です。	受賞要件およびクラブ/地区からの報告に関する情報	2017年6月30日
意義ある業績賞	地域社会の重要なニーズに取り組むプロジェクトを実施したクラブを表彰するものです(国際的なプロジェクトは受賞対象となりません)。(毎年1地区1クラブ)	地区ガバナー (推薦書式あり)	3月15日
奉仕の“パートナー”を称える賞			
インターアクトクラブのための会長賞	会長が指定したチャレンジ項目を満たしたインターアクトクラブを表彰する賞です。	証明：提唱ロータリークラブ会長または地区リーダー	達成期日：2017年6月30日 RIへの報告：2017年7月15日
ローターアクトクラブのための会長賞	会長が指定したチャレンジ項目を満たしたローターアクトクラブを表彰する賞です。	ローターアクトクラブ会長・クラブのアドバイザー(顧問) (受賞要件およびクラブ/地区からの報告に関する情報あり)	達成期日：2017年6月30日 My ROTARYにて報告

賞	授賞資格	推薦者	締切日、提出期間
卓越したローターアクト・プロジェクト	地元や海外の地域社会で大きな影響をもたらす奉仕プロジェクトを実施したローターアクトクラブを称えるための賞です。	ローターアクター (推薦書式あり)	2月1日
ロータリアン配偶者／パートナー奉仕功労者	ロータリーを通じて模範的な人道的奉仕を行ったロータリアンの配偶者／パートナーを称えるための賞です。	地区ガバナー (推薦書式あり)	3月1日
ロータリー最優秀学友会賞	学友がロータリーで果たす重要な役割について認識を高めるため、ロータリーで大きな影響をもたらした学友会を表彰する賞です。	ロータリー財団地域コーディネーター (推薦書式あり)	6月30日
ロータリー人道奉仕功労者	ロータリーの理念と調和する模範的な人道奉仕を行ったロータリアン以外の人を表彰する賞です。(1地区1名)	地区ガバナー (注文書式あり)	なし
ロータリー学友人道奉仕世界賞	人道的奉仕の実践や職業での活躍を通じて、ロータリープログラムの影響を身をもって示した優れた学友に贈られる賞です。	ロータリー財団地域コーディネーター (推薦書式あり)	6月30日
世界インターアクト週間の表彰	初のインターアクトクラブ創設を記念する「世界インターアクト週間」(11月5日を含む週)に、これを記念する特別な活動を実施したインターアクトクラブを表彰する賞です。活動の一例として、ロータリークラブと協力したプロジェクト、例会やイベントでの勧誘活動などがあります。	提唱ロータリークラブまたは地区インターアクト委員長 (表彰記念状例あり)	特になし
世界ローターアクト週間の表彰	初のローターアクトクラブ創設を記念する「世界ローターアクト週間」(3月13日を含む週)に、これを記念する特別な活動を実施したローターアクトクラブを表彰する賞です。活動の一例として、ロータリークラブと協力したプロジェクト、例会やイベントでの勧誘活動などがあります。	提唱ロータリークラブまたは地区ローターアクト委員長 (表彰記念状例あり)	特になし

参照：<https://www.rotary.org/myrotary/ja/learning-reference/learn-topic/awards>

米山梅吉記念館便り

シリーズ② 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、渡米資金を蓄える意図を持ち17歳で東京府吏員に採用されます。その後青山の東京英和学校入学、米人ニコール・バックに英語を学び、明治20年に銀座の福音会英語学校へ入学。正式に米山家へ入籍し米山姓を名乗り、年末渡米しました。19歳でした。

渡米して桑港福音会寄宿舎に寄寓し、青山学院長・本田庸一と出会います。部屋に押し掛け薫陶を受けていた様子ですが、ある時先生はしきりに「巧遅拙速」と、米山に見せるともなく書いていました。それに気付いた米山は自分の性格を察して「功を急ぐな」と戒められたと感じ入り、一生の座右の銘としました。



米山梅吉、在米当時、21歳頃

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりやうかがい上がらせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩など、趣味の人米山の一面を知る事もできます。

ポール・ハリスお手植え月桂樹2世が記念館に植えられています。ポール・ハリスが昭和10年に来日したおり、帝国ホテル前庭にお手植えした月桂樹から育苗した2世が、記念館に植えられました。さらにこの木からの3世を現在生育しています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



地区通信

2016-17年度職業奉仕担当者研修会開催

地区職業奉仕委員長
伊藤 哲雄（京都洛西RC）

7月9日、メルパルク京都5F会議室を会場に、地区内クラブの奉仕プロジェクト部門職業奉仕担当者、職業奉仕委員長他100人を超える参加者を得て、研修会を開催いたしました。



刀根ガバナーの開会点鐘とご挨拶に続き、第1部は、今年度の地区職業奉仕委員会に対する国際ロータリーの活動指針、及びそれに基づく委員会活動計画を説明し、ロータリーの基本理念と国際ロータリーと地区の戦略計画にみる現在の職業奉仕の位置付けと指針を、職業奉仕の歴史的経過と変容を交えて解説いたしました。第1部の資料は1月の職業奉仕月間のクラブ職業奉仕活動ための参考資料としてCDに収録し、別に昨年度1月31日に開催した職業奉仕講演会の講演録を添付して配布いたしました。なお講演録巻末には昨年度のクラブ職業奉仕活動レポートを収録しております。

第2部は、事前にお願ひしたアンケートの回答からクラブにおける職業奉仕活動の事例を紹介し、同時に規定審議会の議案のうち職業奉仕に関係すると考えられる問題点を含めて、刀根ガバナーのコメントを頂きながら意見交換をいたしました。最後に刀根ガバナーに講評をいただき、北河原職業奉仕担当諮問委員の締め



めのご挨拶をもって、3時間にわたる会議を終了いたしました。

2016-17年度 2650地区財団セミナーを終えて

地区ロータリー財団委員長
八木 秀之（敦賀西RC）

2016-17年度のロータリー目標は、ロータリー財団管理委員会が承認した財団の3ヶ年優先項目と目標が多く盛り込まれています。財団百周年を迎え、地区はクラブのサポートを第一とし、人道的奉仕と公共イメージ、ロータリーの認知度の向上を目標にしています。

昨年との継続性を考え設定されている今年の地区ロータリー財団セミナー（地区主催）は、刀根ガバナーによる「財団誕生百周年を振り返り」と題し財団の歴史的背景を話されました。その中にアーチ・クラフ ロータリー財団創立者の言葉『私達は、自分の為だけに生きるべきではない。誰かの為に“良いこと”をする喜びの為に生きるべきだ』と話されています。ロータリー財団の根元はこの言葉に尽きると思います。ロータリアンは、「ロータリー財団の使命」と「ロータリーの使命」の再読をお願いしたい。地区財団補助金プロジェクトに参加するに当たり、財団の標語『世界で良いことをしよう』を念頭に事業展開して欲しいものです。

基調講演は毎年お願いしている地区財団担当諮問委員、元RRFCの宮崎パストガバナーでした。百周年を迎えたロータリー財団の移り行く財団の姿とこれからの財団の大切な基本をしっかりと教授されました。会員の今後の財団奉仕プロジェクトの手本となり、間違いのない事業実践を願わずにいられます。



昨年は国連児童基金東京事務所、平林国彦代表と財団学友出身の島田潤君（第2770地区）の御2人の講演でした。財団とユニセフ、そしてポリオのこと。財団奨学生がJAXAの中で中心となって頑張っている島田潤君。ロータリアンの心の寄付が素晴らしい多くの若者を育てている一部を知って頂きました。

今年は刀根ガバナーの財団目標にもありましたグローバルに関して、奉仕活動の為の資金、グローバル補助金活用とその方法、資金管理と報告のテクニックを今回の地区セミナーに最適任者第2660地区宮里唯子財団委員長に御講演をお願いし快くお受け頂き、実のあるセミナーとなりました。DDFの活用することについては、当地区はパイロット地区指定を受けその実績は確実なものがありますが、グローバルプロジェクトとなりますと少々不慣れと不勉強なところもあり、今回の宮里委員長の教えは我々には大変ためになったと思います。宮里委員長の実績が物を云いました、日本では、グローバルについてはトップクラスの財団委員と評価されている方です。当地区財団5委員会全ての委員も心して委員としての責務をロータリアンの為に果たすべく精進したいものです。財団百周年にふさわしいセミナーであったと思います。

第2650地区 2016年7月 会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	27	1	0	28	28	1	0	4	96.30	1
福知山	59	1	0	60	59	1	0	4	94.58	0
福知山西南	40	0	0	40	40	0	0	4	94.18	0
亀岡	29	0	0	29	29	0	0	4	100.00	0
亀岡中央	11	0	0	11	11	0	0	4	86.67	1
京丹後	29	0	0	29	29	0	0	3	86.33	1
京都	191	7	0	198	191	7	0	4	99.32	0
京都伏見	93	2	0	95	94	2	0	5	87.52	10
京都平安	23	0	0	23	23	0	0	3	85.32	6
京都東	91	0	0	91	91	0	0	4	94.15	0
京都東山	73	4	0	77	73	4	0	4	92.86	3
京都北東	25	0	0	25	25	0	0	4	87.04	1
京都城陽	32	0	0	32	32	0	0	5	100.00	2
京都桂川	29	1	0	30	29	1	0	4	94.37	0
京都北	68	2	0	70	68	2	0	4	88.04	0
京都南	230	0	0	230	230	0	0	4	92.83	0
京都モーニング	40	1	0	41	40	1	0	4	89.42	3
京都紫野	56	2	0	58	56	2	0	3	100.00	0
京都中	38	1	0	39	38	1	0	3	100.00	0
京都西	103	1	0	104	103	1	0	3	99.31	0
京都西山	20	0	0	20	20	0	0	4	100.00	1
京都乙訓	41	0	1	40	41	0	1	5	85.39	1
京都洛中	91	0	0	91	91	0	0	4	100.00	0
京都洛北	71	1	0	72	71	1	0	4	88.85	0
京都洛南	32	0	0	32	32	0	0	4	95.11	2
京都洛西	49	4	0	53	49	4	0	5	90.56	6
京都洛東	43	0	0	43	43	0	0	4	88.69	0
京都嵯峨野	23	0	0	23	23	0	0	4	79.35	1
京都さくら	26	0	0	26	26	0	0	4	76.00	8
京都西北	42	1	0	43	42	1	0	4	79.37	2
京都西南	44	1	0	45	44	1	0	4	96.22	4
京都紫竹	37	0	0	37	37	0	0	4	98.41	2
京都朱雀	34	0	0	34	34	0	0	4	90.63	3
京都田辺	19	0	0	19	19	0	0	4	95.83	3
京都山城	26	2	0	28	26	2	0	4	94.41	0
京都八幡	31	0	0	31	31	0	0	4	94.44	4
舞鶴	28	0	0	28	28	0	0	4	97.14	0
舞鶴東	37	1	0	38	37	1	0	4	88.96	4
宮津	34	0	0	34	34	0	0	4	92.19	0
園部	23	0	0	23	23	0	0	4	98.61	0
宇治	39	0	0	39	39	0	0	4	98.61	1
宇治鳳凰	47	0	0	47	47	0	0	4	93.01	6
小計	2,124	33	1	2,156	2,126	33	1	4.0	92.62	76

奈良県 (14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	56	0	0	56	56	0	0	4	94.36	0
五條	34	0	0	34	34	0	0	4	90.65	1
平城京	24	0	0	24	24	0	0	4	86.91	2
生駒	22	1	0	23	22	1	0	4	84.39	3
橿原	46	0	0	46	46	0	0	5	89.27	1
奈良	125	1	0	126	125	1	0	4	97.57	4
奈良東	38	0	0	38	38	0	0	4	93.61	0
奈良西	43	0	0	43	43	0	0	4	91.33	2
奈良大宮	68	0	0	68	68	0	0	4	100.00	0
桜井	15	3	0	18	15	3	0	4	94.75	4
大和郡山	52	0	0	52	52	0	0	3	90.35	2
やまとまほろば	32	0	1	31	32	0	1	3	97.81	2
やまと西和	24	1	0	25	24	1	0	4	91.75	2
大和高田	95	2	0	97	95	2	0	4	99.17	4
小計	674	8	1	681	674	8	1	3.9	92.99	27

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	125	0	0	125	125	0	0	4	85.34	12
福井あじさい	63	1	0	64	64	1	0	5	85.56	5
福井フェニックス	56	0	2	54	56	0	2	4	85.10	9
福井東	46	1	0	47	46	1	0	3	90.64	9
福井北	104	1	0	105	105	1	0	4	74.92	10
福井南	35	0	2	33	35	0	2	3	85.70	0
福井西	32	0	0	32	32	0	0	4	92.49	3
福井水仙	22	0	0	22	22	0	0	4	76.43	2
勝山	28	0	0	28	28	0	0	4	82.14	3
丸岡	34	0	0	34	34	0	0	4	89.96	1
三国	32	0	0	32	32	0	0	5	91.67	4
大野	40	0	0	40	40	0	0	3	75.90	2
鯖江	32	0	0	32	32	0	0	4	87.90	3
鯖江北	13	0	0	13	13	0	0	4	78.84	0
武生	57	0	0	57	57	0	0	4	75.46	2
武生府中	30	0	0	30	30	0	0	4	96.42	0
敦賀	33	1	0	34	33	1	0	4	81.09	1
敦賀西	17	1	0	18	17	1	0	4	73.61	1
若狹	26	3	0	29	26	3	0	3	95.73	1
小計	825	8	4	829	827	8	4	3.9	84.47	68

滋賀県 (21クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	42	2	0	44	42	2	0	4	94.58	1
五個荘能登川	21	0	0	21	21	0	0	3	78.67	0
東近江	30	2	0	32	30	2	0	4	91.78	0
彦根	62	2	1	63	62	2	1	4	94.21	5
彦根南	63	1	1	63	63	1	1	4	89.77	0
湖南	40	0	0	40	40	0	0	4	89.11	4
草津	30	0	0	30	30	0	0	4	89.29	0
水口	37	0	0	37	37	0	0	4	97.67	0
守山	39	0	0	39	39	0	0	5	96.74	1
長浜	59	2	1	60	59	2	1	3	97.11	1
長浜東	57	1	1	57	58	1	1	5	100.00	0
長浜北	26	1	0	27	26	1	0	4	91.67	4
近江八幡	44	0	0	44	44	0	0	4	98.70	1
大津	109	1	0	110	109	1	0	4	100.00	5
大津中央	29	0	0	29	29	0	0	5	83.97	4
大津東	22	3	0	25	22	3	0	4	84.38	4
大津西	20	0	0	20	20	0	0	4	94.45	0
栗東	43	1	0	44	43	1	0	4	91.86	2
高島	44	0	0	44	44	0	0	4	100.00	2
野洲	40	1	0	41	40	1	0	5	95.38	2
八日市南	48	0	0	48	48	0	0	4	86.04	2
小計	905	17	4	918	906	17	4	4.1	92.64	38

Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリーEクラブ2650	50	1	1	50	50	1	1	3	100.00	5
小計	50	1	1	50	50	1	1	3	100.00	5

合計 (97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
合計	4,578	67	11	4,634	4,583	67	11	3.8	91.16	214

■表作成にあたって
 ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
 ・入退会者数、7月会員数および入退会者累計数は7月末現在です。
 ・「期首会員数」は、平成28年7月1日入会の会員数を含みます。

国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 7月 会員の動き

7月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
若狭	黒羽 庸一	発電事業
若狭	池田 渉	ビルディング賃貸
若狭	藤本 周次	放送事業
敦賀	谷 大智	電気事業
敦賀西	滝 真一郎	生命保険
福井あじさい	藤岡 茂樹	薬局
福井東	中村 幸雅	サービス業
福井北	市橋 真紀	都市ホテル
びわ湖八幡	中島 幸泰	レストラン(中華料理)
びわ湖八幡	蘆田 敏雄	倉庫業
栗東	田中 英樹	機械設計
大津	柳 康弘	生命保険
大津東	岩城 良夫	投資業
大津東	清水 康宏	料理旅館
大津東	眞柄真由美	飲食業
長浜	廣部 猛司	商業デザイン
長浜	波田 晋一	商業銀行
長浜東	鈴木 厚志	水道工事
長浜北	川合 真矢	日本料理
東近江	岡本 弘	食品製造販売
東近江	吉見 弘美	建築工事業
彦根	角田 仁	交通運輸
彦根	松田 充弘	木材販売
彦根南	水野 成人	旅行業
野洲	長谷川成幸	屋根工事
綾部	村上 正一	精密機械製造
福知山	片山 隆永	葬祭業
京都	久我 誠	新聞発行
京都	宮嶋健一郎	損害保険
京都	古田 雅也	都市銀行
京都	小西池 透	ガス供給事業
京都	杉山 剛	証券会社

クラブ名	氏名	職業分類
京都	大西 廣到	地方銀行
京都	有馬 高司	都市銀行
京都モーニング	石田 貢	美術商
京都桂川	菱田 匡樹	不動産仲介業
京都山城	喜多 俊夫	管工事
京都山城	澤井 光義	交流施設
京都紫野	辻 拓宏	酒類販売
京都紫野	齊藤 達也	銘板印刷
京都西	津田 陽輔	和菓子製造
京都西南	紅谷 裕司	建築請負業
京都西北	北村 幸裕	弁護士
京都中	岡本 靖之	花販売
京都東山	安倍 秀風	詩吟
京都東山	加藤 晃久	漬物製造
京都東山	田村 旭彦	土木業
京都東山	茂山 良暢	狂言
京都伏見	藤森 和彦	日本酒製造
京都伏見	大田 勝	組積工事
京都北	森本 謙	証券業
京都北	木下 直樹	建築土木
京都洛西	青山 豊	ホテル
京都洛西	谷口 幸二	ヘアメイクアップアーティスト
京都洛西	中村 修二	税理士
京都洛西	平松 敏克	不動産・建築・設計
京都洛北	鈴木 国雄	旅行業
舞鶴東	中野 暢夫	清掃業
やまと西和	松下 年成	内装工事業
大和高田	三木由貴男	生命保険
大和高田	本橋 聡	商業銀行
桜井	谷田 康	国際交流
桜井	平井 勝也	石油販売
桜井	倉本 明佳	仏教
生駒	石山 優	情報通信
奈良	木村 治久	電灯電力供給
日高-91-E7572650	関 義清	土木建設・不動産

7月退会者一覧

クラブ名	氏名
福井フェニックス	杉本 善信
福井フェニックス	柳澤 晋一
福井南	加藤 義朗
福井南	高嶋 義寛
長浜	竹中 滋祥
長浜東	松居 繁隆
彦根	杉本 剛郎
彦根南	土田 信之
やまとまほろば	石井 重朗
日本ロータリーEクラブ2650	高山英一郎

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
京都北東	辻井理紀也*
京都乙訓	戸渡 孝一郎

※名誉会員

文庫通信(348号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演から

- ◎「一服の叡智」ピチャイ・ラタクル 2015 12p (D.2520地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーの心」千玄室 2016 2p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「もう一度ロータリーを・・・」小船井修一 2015 8p (D.2520地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーを楽しもう」河本英典 2016 2p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「日本の文化・伝統と教育が、拓く未来!」櫻井よしこ 2016 11p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎「繋がる夢」シルネン・ブヤンジャルガル 2016 3p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「スポーツの可能性」為末 大 2016 8p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「東洋スロトレー老いない体のつくり方」田中貴恵 2016 4p (D.2780地区大会報告書)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

Rotary
District 2650



Kyoto
Nara
Shiga
Fukui

国際ロータリー第2650地区

2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

ガバナー事務所●
 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階250号室
 TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2016-17@rid2650.gr.jp